

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 27 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	災害公営住宅整備事業等(横堀平)	事業番号	A-1-2
交付団体	大玉村		事業実施主体(直接/間接)	大玉村(直接)	
総交付対象事業費	2,150,000(千円)		全体事業費	2,112,758(千円)	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：59戸</p> <p>整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>整備手法：建設</p> <p>建設する建物の構造：木造平屋及び2階建て戸建て住宅(59棟)</p> <p>『福島県復興計画(第2次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン(平成24年3月)」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保</p> <p>取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に400人が生活をして(平成24年1月現在)おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成27年10月30日)</p> <p>整備戸数見直しにより▲8戸となったため、◆A-1-2-2 災害公営住宅コミュニティ広場整備事業へ37,242千円(国費32,587千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,150,000千円(国費1,881,249千円)から2,112,758千円(国費1,848,662千円)に減額。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。</p>					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 27 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	5	事業名	災害公営住宅コミュニティ広場整備事業	事業番号	◆A-1-2-2
交付団体	大玉村		事業実施主体 (直接/間接)	大玉村(直接)	
総交付対象事業費	0 (千円)		全体事業費	40,734 (千円)	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている居住制限者の居住の安定を確保するための災害公営住宅を建設中であるが、隣接地にコミュニティ広場を整備することで、子どもから高齢者までが気軽に利用でき、また災害公営住宅の入居者と近隣住民並びに他町村へ避難している富岡町民とのイベント等の開催で、コミュニティの形成が期待できる。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備箇所：大玉村玉井字横堀平地内（災害公営住宅隣接地）</p> <p>整備面積：8,000 m<sup>2</sup></p> <p>整備内容：① 公園の整備（全面積芝生化、スプリンクラー設置） ② トイレ、物置の整備（木造平屋建、20 m<sup>2</sup>程度、男女及び身障者用）</p> <p>（事業間流用による経費の変更）（平成 27 年 10 月 30 日）</p> <p>横堀平地区の整備戸数見直しにより▲8 戸となったため、A-1-2 災害公営住宅整備事業より 40,734 千円（国費 32,587 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 0 千円（国費 0 千円）から 40,734 千円（国費 32,587 千円）に増額。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浜通り地方の市町村が役場機能を他町村へ移転せざるを得なくなるなど、原子力災害は本県の基盤を根底から揺るがずものとなっている。</p> <p>コミュニティ広場は、災害公営住宅入居者にとってのコミュニティ形成・維持を図るもので、近隣に類似施設がないこの地域には必要であり、芝生化された広場での様々な活動により子どもの心身健やかな発育、高齢者の介護重症化の予防等が図られ、入居者はもちろん、近隣住民も含めて交流できるよう整備を行う。</p>					
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	A-1-2				
事業名	災害公営住宅整備事業（横堀平）				
交付団体	大玉村				
基幹事業との関連性					
<p>コミュニティ広場を災害公営住宅建設地の隣地へ整備することにより、子どもや高齢者等自動車を運転できない世代等が気軽に利用でき、入居者と近隣住民とのコミュニティ形成の一役を担う。</p>					

(様式 1 - 3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 27 年 10 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	道路事業 (皿久保・前ヶ岳線外 1 線)	事業番号	F-1-1
交付団体	大玉村		事業実施主体 (直接/間接)	大玉村 (直接)	
総交付対象事業費	176,102 (千円)		全体事業費	176,102 (千円)	
事業概要					
<p>村が建設を進める災害公営住宅 (横堀平) と、日常生活に必要な商業施設が立地する国道 4 号や本宮市、郡山市を結ぶ県道本宮・土湯温泉線までの村道皿久保・前ヶ岳線及び村道大橋平線は、村民が通勤する際に利用する重要な村道であるが、幅員が 3.5m~6.0m であり、歩行者がいる場合は車同士がすれ違う際に支障を来している現状であるため、幅員を 7.0m に拡幅し、公営住宅入居者及び近隣住民の安全の確保と自動車の円滑な通行が確保できる。</p> <p>【整備概要】 工事箇所：大玉村玉井字横堀平、大山字大橋平地内 工事内容：道路改良 (拡幅) L=892.8m、W=7.0m</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浜通り地方の市町村が役場機能を他町村へ移転せざるを得なくなるなど、原子力災害は本県の基盤を根底から揺るがすものとなっている。</p> <p>災害公営住宅建設地から主要幹線までのアクセス道路となっているこの村道は狭隘箇所が多く、勾配があり冬場は凍結するため、歩行者の安全性及び円滑な交通が危惧され、大玉村民はもとより、長期避難者の良好な生活環境に大きな支障を来している状況にあり、交通環境の改善が急務となっている。</p>					
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					